



January 2005 No. 50

(本部事務局)(財)日本特産農作物種苗協会内 〒107-0052 港区赤坂 2-4-1

(つくば事務所) 農業情報学会内 J R Tつくば事務所

〒305-0034 茨城県つくば市小野崎 143-3

TEL 029-856-8708 FAX 029-856-0024

<http://www.jrt.gr.jp>

農業情報学会シンポジウム2005春

## 食の安全性確保と適正農業規範

日本いも類研究会事務局

農業情報学会の主催で行われております - 農業情報学会シンポジウム 2005 春 - が、来る2月8日(火)～9日(水)に東京都新宿区霞ヶ丘町の「日本青年館ホテル」で開催され、本年度は日本いも類研究会も共催団体に参加することになりました。

つきましては、農業情報学会よりシンポジウムの案内が以下のとおり示されましたのでお知らせします。なお、参加料金は「主催・共催団体の会員」が適用されます。

### 農業情報学会シンポジウム 2005 春&Agro-informationExpo (農業情報技術展) 開催のご案内

一連の食品事件騒動とその後の検討から、農業の生産現場がしなければならないこと、食品の流通現場が行わなければならないこと、などが見えてきました。

農薬適正使用などの農業規範を守ること、全ての取引でトレーサビリティを確保することなどで、したがって次の課題は、それらの実現のための具体的な手順を示すことです。

今回のシンポジウムは、この課題にタイムリーに 대응していこうとするもので、食の安全・安心と農薬適正使用 食の安全・安心を支えるユビキタス技術をテーマに、適正農業規範と農薬適正使用、そしてトレーサビリティを現実にするユビキタス技術についてシンポジウムを開催します。

- - - - 受講申し込みは web で！

<http://www.jsai.or.jp/taikai/2005/> - - - -

テ - マ : 食の安全性確保と適正農業規範

食の安全・安心と農薬適正使用

食の安全・安心を支えるユビキタス技術

開催日時：2005年2月8日（火）～9日（水）

開催場所：日本青年館ホテル3F（東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号）

【主催】農業情報学会

【共催】食品トレーサビリティシステム標準化推進協議会、T-Engineフォーラム、  
日本生物環境調節学会、日本フードシステム学会、日本食品工学会、（社）日本食品  
科学工学会、日本農業普及学会、日本いも類研究会、農薬工業会、（依頼中）

【後援】農林水産省、総務省（依頼中）日本農業新聞、

## シンポジウム 【食の安全・安心と農薬適正使用】

日本青年館ホテル 3階 国際ホール 2月8日（火） 10：00～16：00

1．10：00-10：45

適正農業規範 GAP と農薬適正使用

農業情報コンサルティング㈱代表取締役 田上隆一

2．11：00-11：45

農業現場における農薬適正使用の実態と課題

農事組合法人和郷園代表 木内博一

3．13：30-14：15

農産物流通過程からみた農薬適正使用の課題と対応

株式会社農業食品監査システム代表取締役社長 徳江倫明

4．14：15-15：00

農薬適正使用支援技術とリスク管理

- 農薬ナビゲーションシステムを事例として -

農業・生物系特定産業技術研究機構中央農業総合研究センター

農業情報研究部生産支援システム開発チーム長 南石晃明

5．15：00-15：45

総合討論

消費者の信頼を取り戻す産地の対応と情報技術

## シンポジウム 【食の安全・安心を支えるユビキタス技術】

日本青年館ホテル 3階 国際ホール 2月9日（水） 10：00～16：00

1 . 10:00-11:00

ユビキタス I D 技術とトレーサビリティ

東京大学情報基盤センター助教授 越塚登

2 . 11:00-11:45

ユビキタス I D センターにおける実証実験

T-Engine フォーラム事務局次長 伯田誠

3 . 13:30 ~ 14:30

ユビキタス I D 技術を使った事例発表

日本農業 IT 化協会 大松重尚

日本ユニシス株式会社 小田原正和

4 . 14:45 ~ 16:00

パネルセッション「ユビキタス I D 技術によるトレーサビリティシステムの連携」

越塚登、伯田誠、大松重尚、他

## Agro-informationExpo(農業情報技術展)(入場無料)

【農産物の安全性確保と生産・流通改革】

日本青年館ホテル 3階

2月8日(火) 9:30 - 17:00

2月9日(水) 9:30 - 16:00

## 情報技術企業セミナー (公開講座) 受講料無料

【新たな農業実現のための情報通信技術】

「日本初 世界標準(ユーレップギャップ)認証取得」

「私はこうして適正農業基準(GAP)を取得した」

「生産の現場で使える農薬情報システム」

「効果的な生産履歴情報の収集システム」

「実践的な農産物トレーサビリティ・システム」

「地域農業を支える農業経営の統合管理システム」

(テーマは都合により変更になる場合があります)

2月8日(火) 10:00 - 16:00 5課題

2月9日(水) 10:00 - 16:00 5課題

## 参加申し込み方法

Web から <http://www.jsai.or.jp/taikai/2005/> にアクセスし参加申込フォームからお申込ください。

## 参加料金及び定員

「シンポジウム1」、「シンポジウム2」 各々

主催・共催団体の会員 各 ¥3,000 (当日¥4,500)

一般 各 ¥5,000 (当日¥7,500)

定員は、各セッションとも**300名**です。多数ご参加待ちしております。

### 【連絡先】

農業情報学会事務局

〒305-0034 茨城県つくば市小野崎 143-3

電話 029-856-1201

[info@jsai.or.jp](mailto:info@jsai.or.jp)

実行委員会事務局長：山藤万里子 農業情報学会本部事務局幹事

## 日本いも類研究会によるいも類新品種等試験栽培について (平成17年向け)

日本いも類研究会事務局

日本いも類研究会では、ジャガイモとサツマイモの新品種を中心としたユニークな品種をピックアップし普及を図るため試験栽培を行っています。

このたび、ジャガイモにつきましては、多数の申し込みいただき予定数を超えましたので、募集を終了いたしました。

なお、サツマイモにつきましては、現在も受け付けておりますので、奮ってご参加いただけますようご案内いたします。申し込み方法等につきましては、[http://www.jrt.gr.jp/trial/t\\_index.html](http://www.jrt.gr.jp/trial/t_index.html)でご確認ください。